

養老川流域田淵の地磁気逆転地層の 国天然記念物指定について

文部科学大臣は、平成30年10月15日（月）に、「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」（市原市）を天然記念物に指定することを、官報に告示しました。

養老川流域田淵の地磁気逆転地層が天然記念物に指定されたため・・・

- 千葉県内では特別天然記念物を含めて18件に
- 地質・鉱物分野は4件に

天然記念物に指定された理由

- 第四紀前期更新世及び中期更新世の境界付近で、地磁気逆転の記録が良好に保存されている。
- 約77万年前に古期御嶽山の噴火により飛来・堆積した火山灰が、地磁気逆転境界付近に堆積しており、年代を特定できる。
- 一連の地層が露頭壁面に現れ、視覚的に確認できる。
- 陸海両方の化石が産出し、環境の変化を知ることができる。



A：白尾火山灰層（Byk-E）（約77万年前）
B：中期更新世の地層（Byk-Eより上層 認定されればこの年代がチバニアンと命名される）
C：前期更新世の地層（Byk-Eより下層）

養老川流域の露頭壁面



養老川河床にみられる生痕化石と貝化石

第四系/紀	完新統/世	
	更新統/世	上部/後期
		中部/中期
		カラブリアン
新第三系/紀	鮮新統/世	ジェラシアン
		ピアセンジアン
	中新統/世	ザンクリアン
		メッシニアン
		トートニアン
		サーラバリアン
		ランギアン
		パーディガリアン
アキタニアン		

チバニアンに？

地質年代表

南房総市岡本城跡の国史跡追加指定について

文部科学大臣は、平成30年10月15日（月）に、史跡「里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡」（館山市・南房総市）のうち岡本城跡の一部を、史跡に追加指定することを、官報に告示しました。

史跡里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡とは・・・

- 房総半島南部を治めた、戦国大名里見氏の拠点となった城跡群。
- 館山市稲村城跡は16世紀前半に里見義通が、南房総市岡本城跡は16世紀後半に里見義頼が居城とした。
- 平成24年1月24日、千葉県内で27件目の史跡指定。
平成25年1月30日
平成27年3月10日追加指定



岡本城跡全景（西から）

今回の史跡追加指定

- 岡本城跡のうち、湊として機能したと推定される、入江の南端域の平坦部を追加指定する。（写真右端の、アパート付近背後の平坦地）



岡本城跡外郭部北端切岸（既指定地）



（参考）稲村城跡全景